

令和7年度 交通安全県民運動

夏の交通事故防止運動実施要領

運動の目的

夏季は、行楽等により交通の流れが変化することや、夏特有の解放感や暑さからの疲れ等による注意散漫が原因となる交通事故、休み中の子どもが関係する交通事故の発生が懸念される。

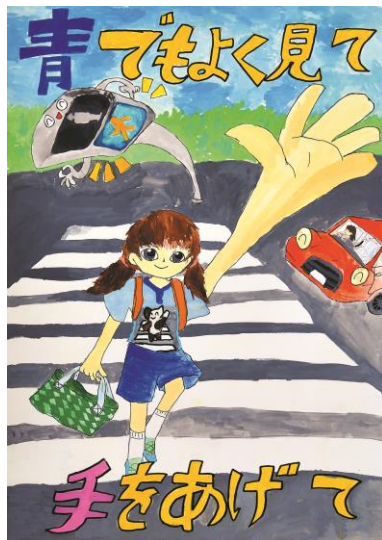
この運動は、県民一人ひとりに交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

運動の期間

令和7年7月14日（月）から7月23日（水）までの10日間
一斉行動日 7月14日（月）

運動の重点

- ① こどもと高齢者の交通事故防止
- ② 自転車利用時のヘルメット着用をはじめとする被害軽減対策の徹底
- ③ 飲酒運転の根絶
- ④ 過労・脇見運転の防止と安全速度の徹底



令和6年度島根県交通安全協会主催
交通安全ポスターコンクール入賞作品
小村 美央里さんの作品（出雲市立神西小学校3年）



令和6年度JA共済主催
交通安全ポスターコンクール入賞作品
山崎 菜乃さんの作品（出雲市立向陽中学校3年）

～①っかりと ②もるルールで ③がう安全～

主唱 島根県交通安全対策協議会

運動の重点	推 進 事 項
① こどもと高齢者の交通事故防止	◎ 運転者 ○ こども、高齢者を見かけたときや通学路等ではスピードダウンを徹底し、思いやりのある運転を実践する。 ◎ 歩行者・自転車等利用者 ○ 道路横断時の安全確認の徹底や、信号機のない横断歩道における「手を上げて横断の意思表示」など、基本的な交通ルールやマナーを遵守する。 ○ 早朝や夕暮れ時・夜間の外出時は、明るい服装を心がけ、反射材用品の活用と、懐中電灯の使用に努める。 ◎ 高齢者 ○ 加齢に伴う身体機能の変化を自覚し、明るいうちに用事を済ませ、夜間の運転や外出を控えるなど、自分の能力と周囲の状況に応じた安全運転・安全行動※¹を励行する。 ◎ 学校・家庭 ○ 道路横断時の安全確認の徹底や、信号機のない横断歩道における「手を上げて横断の意思表示」など、事故に遭わないよう、交通安全の「声かけ」を励行する。 ○ 「自転車安全利用五則」※²による自転車の安全利用の指導を徹底する。 ◎ 関係機関、団体・地域・職場 ○ 歩行者・自転車利用者等への思いやり運転の励行を呼びかける。 ○ 高齢者に対し、加齢に伴う身体機能の変化を自覚させ、安全行動を励行させるよう、参加・体験型の交通安全教育を実施する。
② 自転車利用時のヘルメット着用をはじめとする被害軽減対策の徹底	◎ 自転車利用者 ○ 大人も乗車用ヘルメットを着用する。 ◎ 運転者 ○ 「車に乗れば、まずシートベルト」を合言葉に、同乗者全員に正しくシートベルトを着用させる。 ○ こどもの体格に合ったチャイルドシートを正しく使用し、6歳以上でも体格によりシートベルトが着用できない時はジュニアシートを使用する。 ◎ 関係機関、団体・学校・家庭 ○ 乗車用ヘルメットやシートベルト、チャイルドシートの必要性や効果について理解させ、着用するよう指導する。
③ 飲酒運転の根絶	◎ 運転者 ○ 飲酒した翌日もアルコールの影響※³があることを認識し、アルコール検査器等を使用することで二日酔いでの飲酒運転を防止する。 ○ 自転車も車両であることから、飲酒運転は絶対にしない。 ◎ 関係機関・団体・地域・職場 ○ 「飲酒運転を絶対にしない、させない、許さない」を徹底する。 ○ 飲酒運転は悪質かつ危険な反社会的行為であることを周知するとともに、飲酒会合時には、ハンドルキーパー運動※⁴を実践し、飲酒運転を許さない環境作りを徹底する。



④ 過労・脇見運転の防止と安全速度の徹底	◎ 運転者 ○ レジャー等での長距離運転は、目的地までの交通状況の確認、運転前の体調管理、早めの休憩や運転交代など、余裕のある計画を立てる。 ○ 前をよく見て運転に集中する。特に交差点や横断歩道付近では、減速又は徐行して歩行者や自転車の有無など安全確認と安全速度を徹底する。 ◎ 職場 無理のない運行計画や十分な休養、運転前の体調確認など、安全運転管理に努めるほか、交通安全の「ひと声」を掛け合い、過労・脇見運転の防止を図る。 ◎ 関係機関・団体・地域 過労運転や脇見運転が重大事故の原因となることを周知する。
-----------------------------	---



※1 安全運転・安全行動

高齢者は、加齢に伴う身体機能の変化を自覚し、次のような安全運転・安全行動に努めましょう。

安全運転

- 「余裕を持った運転計画をたてる」
- 「夜間や雨の日の運転を控える」
- 「後続車が迫って来たら脇によけて先に行かせる」等

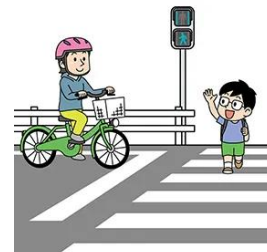
安全行動

- 「道路を横断するときは横断歩道を利用する。」
- 「道路横断中も安全を確認し、慌てずに横断する。」
- 「明るい内に用事を済ませ、夜間の外出を控える。」
- 「夕暮れ時から夜間・日の出前の外出は必ず反射材を着用する。」
- 「歩行者用信号が点滅したら、次に信号が青になるまで待つ。」等



※2 自転車安全利用五則 (令和4年11月1日 交通対策本部決定)

- 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用



万が一の事故への備えとして、**ヘルメットを着用**するとともに、**自転車保険に加入**しましょう

※3 アルコールの影響

「酒は、ひと眠りすれば体から抜ける。」と勘違いしていませんか？

種類	ビール	焼酎	チューハイ	日本酒	ワイン	ウイスキー
数量	500 ml	100 ml	350 ml	180 ml	200 ml	60 ml
飲酒量の目安	中ジョッキ 1杯	コップ1杯 (水割り5:5)	350ml缶 1本	1合	ワイングラス 2杯	ダブル 1杯

この数量で…

**アルコールを分解
するのに5時間以上
かかります！！**

2倍 飲めば10時間！
3倍 飲めば15時間！！

(注) アルコールの分解速度は、年齢、性別、体格、体質等による個人差が大きく、ある研究によれば、速い人と遅い人の間には、2～3倍の差があるといわれています。

※4 ハンドルキーパー運動

仲間と飲食店などへ自動車で行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が、飲酒後の仲間を自宅まで送るという飲酒運転を根絶するための運動です。

ハンドル
キーパー

